

明るい兆しの見える22春闘 社員の生活の回復を目指す

WING

日本航空ユニオン宣伝ニュース
No 510 (13-05)
2022年 1月 18日

Tel: 03-5756-8690 URL <http://www.jlu.co.jp> e-mail honbu@jlu.co.jp

新 抱負の 厳しい時でも物事を深く考え 社員のために何が必要かを訴える



コロナ禍も丸2年となり、収束への道のりが長くなっています。しかし私達は不幸中の幸いと言いますか、破綻時にスリム化され、筋肉質な体制ができています。整備現業では今の便数を支える事が精一杯の人員で必死に安全運航を支えています。他部門では他企業への出向やテレワークなど様々な工夫を行って、キャッシュフローを止める所まで来ています。そんな中での第6波ではありますが、コロナウイルス感染での症状も変わって来ました。ウィズコロナでの生活様式も進化が必要です。

赤坂社長は感染初期から「社員の命を守る、そして生活を守る」と宣言していました。もうしばらく厳しい状況が続きます。労働組合として、具体的にどうやって社員の生活を守っていくのか、人があってこそその企業だということを、今年もしっかりと経営陣に伝えていきます。人は余裕がなくなると、つい周りが見えなくなってしまいます。そんな時こそ「心を澄ませ 物事を深く考える」ことで自分が何をすべきなのが見えてきます。どんなに余裕がない状況下でも自分を見失わず、物事を深く考えて、社員を守るために必要なことは何かを経営に働きかけ続けます。そして会社組織が組合からの指摘が無くても、一人ひとりの社員に寄り添っていけるような JAL に変えていくという夢の実現に向けて 2022 年も活動していきます。

日本航空ユニオン 中央執行委員長

佐藤 健司

年末年始の国内旅客は急回復 今後はゆっくり回復

2年ぶりの繁忙期を迎えることとなった年末年始、国内線はオミクロン株の感染拡大が本格化する前だったため、多くのお客様に利用していただけました。コロナ禍でも安全・安心の運航とサービスを提供してきたことで、以前と変わらず JAL を利用するお客様の信頼を守っていると云えます。

2021-22年末年始輸送実績(12/25~1/4)

	会社	提供座席数		総旅客数		利用率	
		座席数	前年比	旅客数	前年比	利用率	前年差
国内線	JAL	1,306,841	137.3%	962,045	233.6%	73.6%	+30.3pt
			93.8%				85.1%
国内線	ANA	1,629,003	94.3%	1,163,916	165.5%	71.4%	+30.7pt
			78.7%				69.9%
国際線	JAL	107,557	137.6%	32,697	199.1%	30.4%	+9.4pt
			31.4%				10.8%
国際線	ANA	89,600	107.3%	30,503	167.4%	34.0%	+12.2pt
			20.9%				8.7%

*座席・旅客数の比率は上段が前年比、下段が前々年比、利用率のptは上段が前年差、下段が前々年差

感染拡大の「第6波」となった年末年始後の客況は急減しています。しかし昨年11月、JALが今年度の通期見通しを示したとき「GoToや第6波によるアップダウンは想定に入れていない」と説明したうえで、「第6波があってもワクチン接種が進んでいるからこれまでとは違う」と述べていました。従って3月単月のEBIT黒字化を目指すことに変わりはないはずで、11月までにキャッシュバースは解消し、年末年始までは順調に推移、年度末にかけて赤坂社長が言う「ゆっくりした回復基調」で進めば、前年度よりは大幅に改善するでしょう。

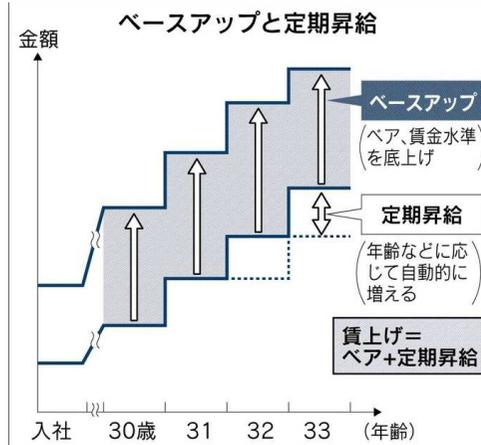
久しぶりの繁忙期も公共交通機関の使命を果たした

「賃上げ」は「定期昇給」だけじゃない



3%超の賃上げを期待したい

岸田総理が「業績が回復した企業は3%を超える賃上げを期待する」と述べたように、国の経済対策としても賃上げが重要課題となっています。コロナで打撃を受けている企業の経営者からは、「ベアは難しい」「一時金で対応したい」などの声が上がりますが、一時金の減額で年収が2割、3割下がるようでは安心して生活できません。コロナから回復途上にある企業も大幅なベースアップを含めた賃上げを実施しなければ、日本はますます「貧しい国」になってしまいます。



物価は上昇傾向 **ベア** で人財流出に歯止めを

全世界的に原材料価格が急激に上昇していて、昨年から今年にかけてモノの値段が上がっています。欧米ではインフレに合わせて賃上げが進んできましたが、日本の賃金は足踏み状態が続いてきました。定期昇給でも個人の収入は増えますが、従業員数に変化が無ければ総人件費としては変わりません。人へ投資するのならベアも一時金と同じくらい重要です。それらの交渉するのが春闘です。コロナ後も「イベントリスクに備えて人件費を抑える」と言っていたら、航空業界に良い人財は集まりません。すでにJGSなどグループ会社では辞めていく人が増えています。業績回復が見通せるなら思い切ったベアがあってもいいでしょう。

みんなの話を聞いてみよう!

俺の話を聞いてくれ!

お金が〜



22春闘
オンライン

忙しすぎ!



1.25^火 » 1.28^金

入退出自由!

17:00 ~ 19:00

5分だけ参加して言いたいこと言って抜けるのもOK!

夕方の貴重な時間“ながら”参加も歓迎です

コロナ禍でなかなか会えない仲間との近況報告にも使えます

小さな組合 参加者みんな昔の仲間

ZoomのID、パスワードはホームページに掲載します。